

授業科目名	学校経営論演習
科目番号	CB24032
単位数	1.0 単位
標準履修年次	3 年次
時間割	春AB 金3
担当教員	濱田 博文
授業概要	学校をよりよくしていくということはどういうことか?よりよい学校を創造するうえで「組織」「経営」という概念で括られる諸条件はどのような機能や意味をもつのか?そしてどのようにあるべきであり、実際にはどのようにありうるのか? これらの問いを中心に据えて、文献読解、受講者自身の調査と発表、討議、そして学校訪問調査などを織り交ぜながら進めていく。
備考	対面
授業方法	演習
学位プログラム・コンピテンスとの関係	教育学における総合的思考力 教育学的実践力
授業の到達目標（学修成果）	(1)学校組織の特徴について説明することができる。 (2)学校現場で起きている課題状況を組織・経営的視点をもって分析することができる。 (3)学校改善の過程を組織・経営的視点をもって分析することができる。
授業計画	学校をよりよくしていくということはどういうことか?よりよい学校を創造するうえで「組織」「経営」という概念で括られる諸条件はどのような機能や意味をもつのか?そしてどのようにあるべきであり、実際にはどのようにありうるのか? これらの問いを中心に据えて、文献読解、受講者自身の調査と発表、討議などを織り交ぜながら進めていく。 第1回 学校を変えるということの意味 第2回 変転する教育改革のなかの学校 第3回 学校組織のしくみをめぐる改革の進行 第4回 学校を組織として観る 第5回 学校の組織力に対するまなざし 第6回 学校の組織文化と教師のエンパワーメント 第7回 学校を変えてゆくプロセスの実際（A小学校の事例） 第8回 学校を変えてゆくプロセスの実際（B小学校の事例） 第9回 学校を変えてゆくプロセスの実際（C高校の事例） 第10回 学校を変える新しい力とは何か
履修条件	「学校経営論」を履修していることが望ましい。
成績評価方法	発表内容（40%）、討議への参画状況（20%）、及び最終レポートの内容（40%）に基づいて評価する。
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	受講生の発表とそれに関する討議（70%）と補足的な講義（30%）を適宜織り交ぜながら進める。 各回の発表者は担当論文を熟読して疑問点などについては他の文献や資料で調べ、独自の論点を提示したレジュメを作成して授業に臨むこと。 受講生は各回の検討論文を必ず熟読して疑問点や違憲などを整理したうえで授業に出席すること。 学校改善に関する理論と実践に関係する文献を読むこと。
教材・参考文献・配付資料等	共通テキストとして下記を用いる。他の参考文献は必要に応じて適宜紹介する。 1. 浜田博文、『学校を変える新しい力』（小学館、2012年）（電子版、2021年） 2. 浜田博文、『学校経営』（ミネルヴァ書房、2019年）

教材・参考文献・配付資料等	<p>3. 浜田博文, 『「学校の組織力向上」実践レポート : 実践の成果と舞台裏』(教育開発研究所、2009年)</p> <p>4. 小野由美子ほか, 『学校経営研究における臨床的アプローチの構築 研究 実践の新たな関係性を求めて』(北大路書房、2004年)</p>
オフィスアワー等(連絡先含む)	<p>木曜日 16:00~17:00(来室前にメールで連絡ください。)</p> <p>hamada at human.tsukuba.ac.jp</p> <p>http://www.human.tsukuba.ac.jp/~hamada/</p>
その他(受講生にのぞむことや受講上の注意点等)	<p>基礎的な知識を蓄えるとともに、教育学的視点をもって発言できるようになってほしい。受講生自身による発表と討議を中心とする授業なので、欠席する場合は事前に必ず担当教員に連絡すること。</p>
他の授業科目との関連	CB24031 学校経営論
ティーチングフェロー(TF)・ティーチングアシスタント(TA)	
キーワード	学校組織, 学校経営, 学校改善, 学校の組織文化